



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月9日

上場会社名 リリカラ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9827 URL <https://www.lilycolor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 佐藤 伸男 TEL 03-3366-7845
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	17,800	9.6	181	—	144	—	41	—
2018年12月期第2四半期	16,239	△0.4	△188	—	△215	—	△212	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	3.36	—
2018年12月期第2四半期	△17.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	19,797	6,138	31.0
2018年12月期	19,013	6,100	32.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 6,138百万円 2018年12月期 6,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,800	8.3	700	282.8	630	367.0	290	632.1	23.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	12,662,100株	2018年12月期	12,662,100株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	367,113株	2018年12月期	367,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	12,294,987株	2018年12月期 2 Q	12,295,334株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢等は引き続き堅調なもの、米中貿易摩擦の長期化のあおりを受け、景気の先行きに対する慎重論が高まり、輸出企業等の業績減速の兆しが見え始めております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数は、第1四半期は前年対比連続してプラスで推移していたものの、第2四半期はマイナス基調で推移しております。また、首都圏における新築マンション発売戸数も上半期において前年対比大幅に減少しており、予断を許さない状況となっております。

この様な環境のもとで、当社の売上高は前年同期比9.6%増の17,800百万円、営業利益は181百万円（前年同期は営業損失188百万円）、経常利益は144百万円（前年同期は経常損失215百万円）、四半期純利益は41百万円（前年同期は四半期純損失212百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① インテリア事業

壁装材は5月に不燃・準不燃収録の住宅、非住宅全ての物件に向けたビニル壁装材見本帳“ライト”を発行、床材は1月に住宅の水廻りをはじめ、さまざまなスペースにお使いいただける“クッションフロア”を発行した他、壁装材見本帳“V-ウォール”、“ウィル”、“らくらくリフォーム プレミアム”、カーテン見本帳“ファブリックデコ”、“サーラ”等を増冊発行し拡販に努め、売上高は前年同期比12.0%増の14,215百万円となり、セグメント利益は248百万円（前年同期はセグメント損失292百万円）となりました。

② スペースソリューション事業

顧客企業のリニューアル、リノベーション、移転等に対する投資意欲の回復、顧客企業に対するより細やかなサービスの提供に努め、売上高は前年同期比1.2%増の3,585百万円となりましたが、セグメント損失は66百万円（前年同期はセグメント利益104百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は前事業年度末比783百万円増の19,797百万円となりました。

流動資産は前事業年度末比860百万円増の15,229百万円となりました。これは主に電子記録債権の増加（524百万円）、現金及び預金の増加（522百万円）によるものであります。固定資産は前事業年度末比77百万円減の4,567百万円となりました。

負債総額は前事業年度末比745百万円増の13,658百万円となりました。流動負債は前事業年度末比693百万円増の12,514百万円となりました。これは主に短期借入金の増加（509百万円）、固定資産購入等支払手形（「その他」）の増加（210百万円）によるものであります。固定負債は前事業年度末比52百万円増の1,143百万円となりました。

純資産は前事業年度末比37百万円増の6,138百万円となりました。なお、自己資本比率は31.0%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態については当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前事業年度との比較・分析を行っております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年2月12日に開示しました「平成30年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」からの変更は行っておりません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,139,227	2,661,445
受取手形及び売掛金	6,729,281	6,093,932
電子記録債権	1,194,666	1,719,090
商品	2,576,694	2,861,452
未成工事支出金	113,851	243,842
その他	1,617,659	1,652,138
貸倒引当金	△2,797	△2,465
流動資産合計	14,368,583	15,229,437
固定資産		
有形固定資産	1,267,665	1,287,250
無形固定資産	92,041	120,503
投資その他の資産		
差入保証金	1,769,304	1,787,487
その他	1,605,376	1,458,484
貸倒引当金	△89,769	△86,127
投資その他の資産合計	3,284,912	3,159,843
固定資産合計	4,644,618	4,567,598
資産合計	19,013,202	19,797,035
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,688,180	9,760,051
短期借入金	424,169	933,500
1年内償還予定の社債	262,500	130,000
1年内返済予定の長期借入金	295,750	265,200
未払法人税等	111,141	117,968
賞与引当金	67,570	177,368
株主優待引当金	2,474	—
工事損失引当金	14,674	3,890
その他	954,475	1,126,443
流動負債合計	11,820,935	12,514,422
固定負債		
社債	235,000	170,000
長期借入金	350,620	486,720
退職給付引当金	278,725	256,130
資産除去債務	65,064	65,663
その他	162,079	165,383
固定負債合計	1,091,490	1,143,897
負債合計	12,912,425	13,658,320

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,500	3,335,500
資本剰余金	2,362,793	2,362,793
利益剰余金	382,953	424,243
自己株式	△60,573	△60,573
株主資本合計	6,020,673	6,061,963
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,103	76,751
評価・換算差額等合計	80,103	76,751
純資産合計	6,100,776	6,138,715
負債純資産合計	19,013,202	19,797,035

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	16,239,902	17,800,755
売上原価	12,185,482	13,114,988
売上総利益	4,054,420	4,685,766
販売費及び一般管理費	4,242,438	4,503,832
営業利益又は営業損失(△)	△188,018	181,933
営業外収益		
受取利息	679	644
受取配当金	4,322	4,489
不動産賃貸料	10,555	10,590
その他	2,807	3,381
営業外収益合計	18,363	19,104
営業外費用		
支払利息	8,166	6,627
手形売却損	13,144	13,371
電子記録債権売却損	8,979	13,012
不動産賃貸費用	11,201	10,611
その他	4,843	13,113
営業外費用合計	46,334	56,736
経常利益又は経常損失(△)	△215,989	144,301
特別利益		
固定資産売却益	20,388	—
特別利益合計	20,388	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△195,600	144,301
法人税、住民税及び事業税	26,307	76,645
法人税等調整額	△9,014	26,365
法人税等合計	17,292	103,011
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△212,893	41,290

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△195,600	144,301
減価償却費	19,897	23,314
ソフトウェア償却費	12,238	14,481
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,723	△3,974
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57,522	109,797
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,474
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△10,783
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△27,031	△22,594
受取利息及び受取配当金	△5,001	△5,133
支払利息	8,166	6,627
固定資産売却損益 (△は益)	△20,388	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△668,713	110,925
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△335,405	△414,738
前渡金の増減額 (△は増加)	286,047	174,373
未収入金の増減額 (△は増加)	61,817	41,019
長期・前払見本帳費及び見本帳製作仮勘定の増減 額 (△は増加)	△314,272	△86,529
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△1,536	3,640
差入保証金の増減額 (△は増加)	△2,156	△16,799
仕入債務の増減額 (△は減少)	288,094	71,871
未払金の増減額 (△は減少)	76,187	33,910
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△143,907	△26,254
前受金の増減額 (△は減少)	△132,487	△76,181
固定資産購入等支払手形の増減額 (△は減少)	437,852	210,954
その他	23,952	△13,535
小計	△572,003	266,219
利息及び配当金の受取額	4,607	4,739
利息の支払額	△8,271	△7,051
法人税等の支払額	△22,055	△68,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	△597,723	195,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,314	△17,550
有形固定資産の売却による収入	133,212	—
無形固定資産の取得による支出	△3,744	△25,140
投資有価証券の取得による支出	△4,333	△4,367
貸付金の回収による収入	3,300	3,300
差入保証金の差入による支出	△2,375	△3,626
差入保証金の回収による収入	2,358	2,242
保険積立金の積立による支出	△6,105	△6,105
その他	△1,144	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー	112,851	△51,505

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△340,333	△490,669
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△200,080	△194,450
社債の償還による支出	△97,500	△197,500
リース債務の返済による支出	△38,375	△38,713
自己株式の取得による支出	△143	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	323,567	378,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△161,304	522,218
現金及び現金同等物の期首残高	3,966,367	2,139,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,805,063	2,661,445

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

2019年7月31日に、当社の建築工事現場において火災が発生いたしました。損害額等につきましては現在調査中であり、合理的に見積もることは困難な状況であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。